

川崎市みどりの将来像について

とりまとめの背景

市制100周年の象徴的事業として開催した全国都市緑化かわさきフェアの閉会式にて、次の100年への始まりとして行った、「みどりのKAWASAKI宣言」で目指すこととしている「人と自然が共生する幸福な社会」の実現に向けて、地球環境に関する世界的な潮流や、気候変動などの社会環境の変化などに対して、これまで以上に高い意識を持ってとりまとめ、令和8年3月に策定しました。



1 みどりの将来像

(1)みどりの将来像の基本的な考え方

「緑のつながり」、緑を通じた「人のつながり」を広げていくとともに、緑と人が関わり、みどりの多様な機能や効果の活用、新たなみどりの価値の創出により、生活の質や地域価値の向上、地域・地球環境課題の解決を図っていく、「みどりを活かしたまちづくり」を進めていきます。

この3つの柱が成長することにより、**人と自然が共生する幸福な社会を実現して**いきます。それぞれの柱の成長を「私たちの暮らしを支える豊かな自然環境」や「私たちが暮らし働く社会環境」の成長にもつなげることで、**自然と都市が共に成長する持続可能な好循環**を生み出していきます。

3つの柱の成長と好循環を持続させるためには、市に関わる多様な主体が自主的に参画し、主体的に取り組むことが必要であり、市全域において総合的に取組を推進し、発展させていくための仕組み(みどりのマネジメント)づくりが重要となります。



自然と都市が共に成長する持続可能な好循環 イメージ

(2)みどりの将来像

コンセプト

「緑のつながり」「人のつながり」「みどりを活かしたまちづくり」からみんなで好循環を生み出し、自然と都市が成長し続ける川崎を目指します。

コンセプトワード

“KAWASAKI NATURE LOOP”

～みどりで、つなげる。みんなが、つながる。～

2050(令和32)年の目指す姿

多摩丘陵や多摩川からまちなかへと、市全域が緑でつながっています
 緑のまとまりやつながりによって、多様な生き物が生息し、触れ合える環境が創出されています
 緑を通じて、市民や団体、企業や学校など、さまざまな人のつながりが広がっています
 緑と人が関わり、自然と人が調和し、みどりを活かしたまちづくりが展開されています
 みどりが持つポテンシャルを最大限に引き出し、好循環により自然と都市が共に成長し続けています
 人と自然が共生する幸福な社会が実現しています

みどりの将来像イメージ図



葉を透明にする体験で
生物多様性を考える



とうめい葉っぱのワークショップは

2026. 5. 4 (祝/月)

- 開催時間 13:00~15:00
(1回20分・入替制)
- 場所 川崎市役所本庁舎1階 情報発信スペース
(神奈川県川崎市川崎区宮本町1)
- 対象 小さなお子さま~大人まで
(6歳未満の未就学児は保護者同伴)
- 参加費 300円 (実費程度)
- 定員 50組まで (先着制・申込不要)



まちの自然体験ラボ 代表
講師：長澤 亮

国内外でのフィールド経験を重ね、
新種の昆虫を多数発見。ネイチャー
ガイド歴は15年以上に及ぶ。

制作協力図書「学研LIVE 昆虫図鑑」

実施：まちの自然体験ラボ (✉: harmas.note@gmail.com)

本イベントは、川崎市市民公益活動助成金の助成を受けて実施しています。